

いきいき  
ライフ  
に乾杯!

一生勉強 一生青春  
銀粘土細工に夢を託して

銀粘土細工アーティスト

川島 和代さん



川島和代さんは、昨年開催された世界中から応募のある「第17回銀粘土で作るシルバークロセサリーコンテスト国際展」でグランプリの

文部科学大臣賞を受賞されました。

子どもが生まれてから、家族の介護も重なり、慌ただしく時が流れていきました。子どもたちの幼稚園入園を見据えて、「私も子どもの成長とともに一から何かをやってみたい!」と一念発起したそうです。幼い頃からモノ作り、デザインする事が好きだった和代さん。工芸作品を色々観て回り、銀粘土細工と出合いました。銀粘土細工の素材が面白いと思っただけです。その素材は、窯で800度の高温で焼くと、銀だけが残ります。扱いやすく手軽で、自宅でもできるのが特徴だそうです。

モノ作りの影響を受けたのは母方の祖母。会社を経営していた夫とともに従業員への指示などを行っていたら、書道、詩吟、絵などをたしなみ、自分への教養も貪欲に高めていました。孫の前で見せてくれる姿は恰好良かったとのこと。いつもニコニコしていて、自然と祖母のような生き方をしたいと思っただけです。

グランプリ受賞の報告を受けた時は、やった!という気持ちよりも、じわーっと熱い物が込み上げてくるのを感じたこの



授賞式でのスピーチ (スクリーンは受賞作品)

和代さんは、作品の幅を拡げるために、現在は貪欲に彫金を習得中。やさしげな微笑の中に芯の強さを併せ持つしなやかな女性でした。(M.T., K.T.)



制作中の川島さん

と。制作している時が一番で、結果は後から言います。販売用の作品も、日常使いが出来るようにオリジナルを出していくのが課題だと制作に励んでいます。

「銀粘土を使ったカタチづくりは、私の全てです。いつもデザインのことを考えています。子どもと市営プールに行った時、水面の動きを作品にしたこともあるんですよ。」と和代さん。制作の際は、集中できるように夫が協力してくれているそうです。

家族ではお互いの個を大切にしている、それが自然と役割分担の定着になり、安定した家庭環境へつながっているようです。自分の軸が欲しいと始めた銀粘土細工。銀粘土は、まだ新しい工芸で、自由な形づくりができます。と意気込む和代さん。そんな

女性の活躍推進に取り組む事業所紹介

関綜エンジニアリング株式会社

本市南町に本店のある関綜エンジニアリング株式会社は、平成26年創業。企業内での優れた女性活躍の推進、働き方改革が認められ、栃木県が主催する「男女生き生き企業」コンテスト・中小企業部門で「優秀賞」に輝きました。

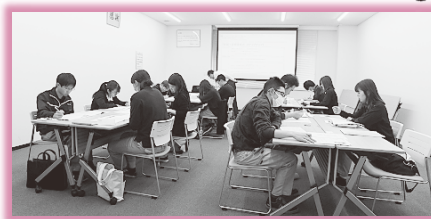
同社では、社長との面談で、若手社員からの意見を取り入れ、生理休暇を無給から有給休暇に変更し、女性特有の体調に配慮しています。男性社員にも女性特有の症状を理解してもらえ、よいきっかけになったそうです。

また、育児休暇や介護休暇も無給から有給の特別休暇に変更して、社員の家庭の状況に応じた支援体制を整えているとのこと。

さらに、トレーニングジムやフィットネスの利用で社員の運動のサポートをしたり、偏りがちな食事面でもパランスのよい食事を提供するなど、女性だけでなく男性も活躍できる職場を目指しているとのこと。

今後は、管理職に占める女性社員の割合をさらに引き上げたいとのこと。女性ならではの感覚で、相談しやすい社内環境を作っていきたいそうです。

女性が多方面で活躍できる環境づくりに取り組んでいる同社の今後の取り組みにも期待しています。



若手社員の研修の様子

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

夢に向かって歩み始めようとしている若者、既に歩み始めている若者、子育てが一段落し自分の好きなものに改めて向き合いががんばる人たち。これから先、壁にぶつかる事もあるかもしれませんが、今の気持ちを忘れずに頑張ってください。これといった目標もなく、なんとなく就職して、一度失敗した自分からすれば、お恥ずかしい限りで、皆さんすばらしいの一言に尽きます。応援してくれる人がたくさんいます。将来が楽しみです。夢に向けて走ってください。(T.M)

●編集 「かけはし」は市民の編集委員と人権・男女共同参画課が共同で発行しています。【編集委員】源田裕久、小林知子、富永三知男、保々政司、本島多加子 (50音順)  
●発行 足利市行政経営部人権・男女共同参画課 〒326-0823 足利市朝倉町264 TEL.73-8080 FAX.73-8066  
●E-mail danjyo@city.ashikaga.lg.jp ●ホームページ https://www.city.ashikaga.tochigi.jp ●表紙の題字は根岸君子さんです。  
●この男女共同参画情報誌かけはしは再生紙を使用しています。